

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	花と緑のガーデン都市づくり事業			事業コード	2409
所属コード	092000	課等名	公園みどり課	係名	花と緑のまちづくり担当
課長名	及川直文	担当者名	美濃部計久	内線番号	7270
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード	4
	基本事業	公共空間の緑化推進	コード	1
予算費目名 (H26)	一般会計 8 款 4 項 6 目 花と緑のまちづくり事業（007-01）			
特記事項 (H26)				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	平成 16 年度
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

姉妹都市ビクトリア市の花の文化を取り入れ、ハンギングバスケットを軸として、市民、事業者、行政の協働により花と緑があふれる街づくりに取り組み、市街地の美化を通じて、商店街の活性化や観光客の誘致を図るとともに、盛岡らしい花と緑の文化を醸成するため事業を展開している。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

市長の公約により平成 16 年度から実施している。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

ハンギングバスケットの設置個数は年々増加し、現在、公共空間設置数全国 1 位を維持していると共に、ハンギングバスケット製作講習会への応募者数も各会場で定員を超える盛況を見せている。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 対象（誰が、何が対象か）

市民、事業者及び道路の沿線にハンギングバスケットを設置しようとする商店街組織等。
ハンギングバスケットの設置を予定している市の施設等

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 器材借受申込団体数	団体	15	14	14	14	14
B ハンギングバスケット設置計画施設数	施設	28	30	30	29	31
C						

(3) 26 年度に実施した主な活動・手順

商店街組織等の団体への機材の貸付
商店街、町内会等へのアドバイザーの派遣
もりお花ハンギングバスケットフェア2014の開催
市の関係施設等へのハンギングバスケット等の設置
ビクトリアロードへのハンギングバスケットの設置

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 製作講習会及びアドバイザー派遣の回数	回	14	18	18	18	17
B ハンギングバスケットフェアのイベント数	個	11	10	10	10	10
C 市の施設等やビクトリアロードに設置したハンギングバスケット数	個	218	237	243	243	241

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

市民、事業者へハンギングバスケットを普及させ、まちなかに魅力のあるハンギングバスケットの設置数を増やすことにつなげ、花と緑のまち‘盛岡’を創出する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 製作講習会及びアドバイザー派遣に係る参加者数	■上げる □下げる □維持	人	196	221	228	230	190
B ハンギングバスケットフェアの来場者数	■上げる □下げる □維持	人	16,100	13,400	13,000	13,000	6,000
C ハンギングバスケットが設置された施設数	■上げる □下げる □維持	施設	28	30	30	29	31

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 計画	26年度 実績
事業費	①国	千円	1,520	1,136	1,089	1,429	
	②県	千円	0	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	12,083	11,925	11,365	11,796	12,458
	⑤その他()	千円	0	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	13,603	13,061	12,454	13,225	12,459
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	300	300	300	300	300
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
計	トータルコスト A+B	千円	14,263	14,261	13,654	14,425	13,659
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：ハンギングバスケットにより、市の施設等の公共空間を緑化すると共に、市民・事業者へのハンギングバスケットの普及を通じて、沿道の緑化を推進する事業である。

② 市の関与の妥当性

妥当である。

理由：ハンギングバスケットを盛岡の文化として醸成していくためには、設置主体の支援やハンギングバスケットの普及が不可欠であり、市の関与は妥当である。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

理由：現状で対象が網羅されている。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

その内容：事業の廃止・休止となった場合、設置施設の拡大が望めないばかりか、既設置施設もその維持継続が困難になることが想定され、ハンギングバスケットが消滅することとなり、ハンギングバスケットを盛岡の花と緑の文化として醸成していくことができなくなる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

向上の余地がある。

理由：ハンギングバスケット製作教室やハンギングバスケット製作に係るアドバイザー派遣を増やすなど、より広く市民にハンギングバスケットを周知していくことや、水やり等の維持管理の軽減を図ることにより、市民のハンギングバスケットに関する関心を高めることができる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

・受益機会の適正化余地

公正・公平である。

理由：ハンギングバスケットの器材貸付対象となる団体は、現状で網羅されている。

・費用負担の適正化余地

商店街等が設置するハンギングバスケットについては製作費や設置費について費用の 8 割を支援しているが、商店街等ではそれ以外に日常の水やりなどの維持管理費を負担しており、市の支援は必要最小限である。

(4) 効率性評価

・事業費の削減余地

削減できない。

理由：事業費の削減のため器材の有償貸付などを行った場合、商店街等の負担が大きくなり、ハンギングバスケットの設置範囲の縮小や廃止が懸念される。

・人件費の削減余地

削減できない。

理由：現状でも最低限の人件費しかかけておらず、削減余地はない。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	都市基盤施設の維持・強化	コード	26
	小施策（推進項目）	都市緑化の推進	コード	4

(2) 改革改善の方向性

今後はさらに市民・商店街組織等へのハンギングバスケットの普及に努めるとともに、維持管理の軽減化を図ることにより、市民のハンギングバスケットに関する関心を高めることができる。

(3) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

ハンギングバスケットの質の向上や日常管理の充実を図るため、事業費確保が課題である。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）

☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）

☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

予算的な制約や、設置に適した道路空間の確保、商店街等の事情により、今後は設置数の更なる拡大が望めないことから、予算の範囲内でより質の向上に向けた支援に努め、本市の花と緑に関する取り組みを全国に発信し、中心市街地活性化の一助として継続する。